

第 1 回施設関係者評価委員会

清水認定こども園

2021 年 3 月 25 日(木)

【議事録】

1. 今回の参加者紹介

聖ヨハネ学園 施設長 宮脇様
清水コミュニティセンター館長 清水様
清水認定こども園 保護者会会長 日高様
清水認定こども園 園長 前田
清水認定こども園 主幹保育教諭 白井

欠席：清水小校長：水野様

第九中学校校長：奥平様

清水地区コミュニティ協会会長：山村様

2. 本日は学校関係者の方々には緊急会議のため欠席連絡あり。今回は 5 名で進めていく。

前田園長より令和 2 年度の事業説明と保育内容、取り組みなどの説明をパンフレットを参照して頂きながら話し、アドバイスやご意見を頂きたい旨を伝える。

園の理念・方針を説明。

・今まで地域に愛され歴史のある公立幼稚園の移管を受けて令和 2 年 4 月に認定こども園として生まれ変わり運営している。幼児クラスの園。

私たちが大切にしていること＝子どもの主体性。子ども主体に過ごせる場所をつくる。

子どもからの発信を受け止め、大人と一緒に考えていく。
大人は子ども自身が考え経験する手助けをする。大人がすぐに答えを出すのではなく子どもが感じ、考えることを見守る。そのためお互いにコミュニケーションをとりながら対話することが大事と考えている。自分の個性を大事にしながらも他の人の意見にも耳を傾けることができるような子に育てて欲しい。

・年度の初めからコロナで今まで経験したことのない取り組み方を工夫してきた。保護者の協力の下、感染予防に充分配慮し、子どもが多く経験ができるように取り組んできた。実質 6 月からのスタートとなり、年間行事を縮小・制限しながらもできることはできるだけするという気持ちで運営してきた。

特別講師として運動あそびの先生を迎えている。身体の使い方を遊びを通して知ることを目的に楽しく身体を動かせるようなカリキュラムで取り組んでいる。

・ランチルームが令和 3 年の 3 月に完成し、同時に仮設園舎での生活が始まっている。旧園舎取り壊し後、令和 4 年の 1 月末に木造 2 階建て園舎が完成予定。2 月初旬に検査

実施後に仮設園舎より移動。

今年度の卒園式を新しいランチルームで執り行うことができ無事に 1 年を終えることができた。まだまだ足りないこともあり、ふり返りをしながら来年度に向けて新しい取り組みも考えていく。

・令和 2 年度、予定していた保育参加はコロナの関係で取り組めなかったが、令和 3 年度はコロナとの共生を考えながら保育参加を実施し、子どもたちと一緒に生活して頂くことで子どもに対する保育者の対応や言葉がけなど身近に見て頂き、当園の保育・教育への取り組みを知って頂きたいと考えている。保護者とのコミュニケーションの場をできる限りとりたい。

・今年度は 3 歳児の人数を考慮し 3 歳児クラスと 4・5 歳児異年齢クラスで運営したが令和 3 年度は 3・4・5 歳児の縦割り（異年齢）で 4 クラスとなる。

異年齢クラスのメリットとして、子どもが実際に一緒に生活し経験することで、大人が言葉で伝えるよりも自然と年上は年下をいたわり、年下は年上に憧れを持つようになる。異年齢で得るメリットは大きいと感じている。

年長児に関しては就学前を考慮し、定期的に年長活動を取り入れていく。

当園は子どもの育ちを見守り、子どもが幸せでいられる場であることを願っている。卒園児においては心の拠り所であり、気軽に立ち寄れる場所と思って欲しい。

・地域の方々にはこども園としての認識は薄い。こども園として地域に根付いていけるよう来年度は未就園児を対象にした地域活動を具体的にはプレ保育の実施を考えている。地域とのつながりを社会情勢を踏まえ、コロナと共生しながら子どもが思いっきり遊べる場を提供していく。

清水コミュニティ館長 清水様 問) 公民館もコロナで制限されている。(利用者が 75 歳以上の方が多いため) 子どもの声が聞こえず工事の音ばかりだったが明るい兆しがみえてきた。公民館の事業計画として子どもを交えての会なども考えている。

園長) コロナについては子どもたちにも話をしている子どもたちなりに理解しているようだ。看護師も衛生面、体調管理には気を配っている。

ヨハネ学園施設長 宮脇様 問) 異年齢クラスに反対ではないがデメリットを教えてください。

園長) 1 クラスあたりの横年齢の人数が少ないため横年齢でのつながりに多少の不安がある。そのことを踏まえ年長児に加え 3・4 歳児も横年齢での活動を加えていく。運動あそびは年齢別の活動をする。また、同じ保育内容でも年齢に応じて素材を変えるなど保育者が環境を整えていくようにする。

問) 異年齢であることに保護者の立場からの意見を聞きたい。

保護者会会長 日高様 答) 公立幼稚園も 4・5 歳児の異年齢だったので特に違和感はない。今年度は自分の子どもは男の子。同年齢で運動あそびのサッカーをすることで輪が広がり、友だちとのつながりが深まったと感じる。ただ、女の子はサッカーが苦手な子が多

かったようだ。3歳児からサッカーに取り組めていたら違っていただろうと思う。

園長) サッカーを通して、協調性や仲間意識の芽生え、考える力を身につけてほしい。大会での勝ち負けに力を入れる園もあり、それも大事だが、当園ではどのようにしたら点が入るかなど皆で考えて取り組んでいく。無理強いせず、できたことに達成感を感じる子どもの育ちを考えたサッカーあそびとして取り組んでいる。色々な経験(うたや造形、合奏など)をして自分の好きなことを見つけ、それを将来にいかせたら嬉しい。(余談で実際にサッカーを続けてJリーグに入った子がいる話をした)

- ・今年度はコロナの影響で小学校との連携が全く無かった。来年度は幼・小連携会議を設けて取り組みたい。小学校へ子どもたちが見学に行く機会を増やしたい。

- ・子育て支援については今年度は園庭開放を実施していた。来年度は園庭がかなり狭くなるため地域向けに出前保育なども考慮している。

- ・今年度の行事は雨で中止になった風あげ以外は計画通り達成できた。(他園に比べて行事内容は多かった)

- ・来年度は新しいスタッフを加え資質向上はもちろんのこと楽しめることは楽しく、職員が楽しんで保育出来る様な環境をつくる。

ヨハネ学園施設長 宮脇様 問) 工事に関しての地域の方の声は?

園長) 地域の方への話し合いは理事長が主になってくれています。最初の段階では、この仮園舎の場所に新しく園舎を建てる予定でしたが地域の方との話し合いの結果、元の場所に建てることになったため工事期間も少し変更になった。

問) 公立だったから地域との関係はよかったと思う。子どもの活動時の声などはきにならないのか。

園長) 子どもの声を聞いて元気になるとおっしゃる方もいれば生活スタイルが様々なので違う意見も聞く。昼のお迎えが夕方までになったことも要因かも。

行事の前には事前に内容をお知らせして断りを入れている。

今後のお付き合いは長いので、聞けることは最大限させて頂き、仲良くしていきたいと考えている。地域の方に園の子どもたちをかわいがっていただきたい思いもあるので。

特にご質問がなければこれで終了させていただきます。

これから長く工事が続きご迷惑をおかけすることもあると思いますがよろしくお願いたします。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

以上、「第1回 施設関係者評価委員会」にての議事録となります。

会議の中でいただいた当園への評価、ご意見を職員間でも共有し、おたより等でも幅広く知らせ、当園の認知を広げるとともに今後も様々なご意見をいただきたく存じます。